

# めぐみイエス・キリスト教会

2021年7月25日(日) 第四主日礼拝  
週報「通算第567号」



## 2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌397「神の御子にますイエス」 p. 636

【交読文】 No.9詩篇第27篇 p. 885

【賛美Ⅱ】 新聖歌428「キリストには代えられません」 p. 690

【使徒信条】 【主の祈り】 【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.2「あなたと共にいつまでも」

【聖書朗読】 使徒の働き10章17節～23節(新約p. 253下段)

【礼拝説教】 《三人の使者とシモン・ペテロ》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所(使徒の働き10章17節～23節)

10:17 ペテロが、今見た幻はいったいどういうことだろうか、と一人で思い惑っていると、なんと、コルネリウスから遣わされた人たちがシモンの家を捜し当てて、その門口に立ち、

10:18 声をかけて、「ペテロと呼ばれているシモンはここに泊まっていますか」と尋ねていた。

10:19 ペテロは幻について思い巡らしていたが、御霊が彼に言われた。「見なさい。三人の人があなたを訪ねて来ています。

10:20 さあ、下に降りて行き、ためらわずに彼らと一緒に行きなさい。私が彼らを遣わしたのです。」

10:21 そこでペテロは、その人たちのところに降りて行って、言った。「あなたがたが探しているのは、この私です。どんなご用でおいでになったのですか。」

10:22 すると、彼らは言った。「正しい人で、神を恐れ、ユダヤの民全体に評判が良い百人隊長コルネリウスが、あなたを自分の家に招いて、あ

なたから話を聞くようにと、聖なる御使いから示されました。」

10:23 それでペテロは、彼らを迎え入れて泊ませた。翌日、ペテロは立って、彼らと一緒に出かけた。ヤッファの兄弟たちも数人同行した。

### ●ポイント1. 神様の命令と、主イエス様の命令とは？

#### ※エレミヤ書10章2節「主のユダヤ人への命令」 (新改訳旧第二版より)

10:2 主はこう仰せられる。「異邦人の道を見習うな。天のしるしにおののくな。異邦人がそれらにおののいていても。」

#### ※マタイの福音書10章5節～6節「十二弟子の派遣」 (新約p.17下段)

10:5 イエスはこの十二人を遣わす際、彼らにこう命じられた。「異邦人の道に行ってははいけません。また、サマリア人の町に入ってははいけません。

10:6 むしろ、イスラエルの家の失われた羊たちのところに行きなさい。」

### ●ポイント2. 「神がきよめたもの」とは？

#### ※マルコの福音書7章18節～19節「すべての食物」 (新約p.80下段)

7:18 イエスは彼らに言われた。「あなたがたまで、そんなにも物分かりが悪いのですか。分からないのですか。外から人に入って来るどんなものも、人を汚すことはできません。

7:19 それは人の心には入らず、腹に入り排泄されます。」こうしてイエスは、すべての食物をきよいとされた。

#### ※ローマ人への手紙14章1節～3節「パウロの見解」 (新約p.319下段)

信仰の弱い人を受け入れなさい。その意見を裁いてはいけません。ある人は何を食べてもよいと信じていますが、弱い人は野菜しか食べません。食べる人は食べない人を見下してはいけなし、食べない人も食べる人を裁いてはいけません。神がその人を受け入れて下さったのです。

### ●ポイント3. 「私が彼らを遣わした」こととは？

#### ※ヨハネの福音書20章21節「復活された日の夕方に」 (新約p.228上段)

20:21 イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされたように、私もあなたがたを遣わします。」

#### ※マタイの福音書28章16節～20節「ガリラヤにおいて」 (新約p.64下段)

## ◎先週のメッセージの概要【シモン・ペテロの見たまぼろしとは？】

《さて、ペテロは祈るために、皮なめし職人シモンの家の屋上に上りました。時は正午頃のことです。ペテロは空腹を覚え、何か食べたいと思いました。そうしますと、彼は夢心地になったのです。すると、天が開け、大きな敷布の様な入れ物が、四隅をつるされて、地上に降りて来ます。その中には、あらゆる忌み嫌われた四つ足の動物や鳥がいました。

実は、この光景は、かつてカペナウムの彼の家にて行なわれた、中風の人のおいやしの場面と連携しています。申命記には、『あなたは、忌み嫌うべき物は、どのような物も食べてはならない。豚もそうである。ひづめは分かれているが、反芻しないので、あなたがたには汚れたものである。その肉を食べてはならない。また、死骸に触れてもいけない。』と書かれています。異邦人であるローマ人は好んで豚肉を食べていたのです。「ペテロよ、立ち上がり、屠って食べなさい。」主イエスの声が響きます。「主よ、そんなことはできません。私はまだ一度も、きよくない物や汚れた物を食べたことはありません。」

「神がきよめた物を、あなたがきよくないと言ってはならない。」

この言葉は、後に第一回教会会議におけるペテロの重要な発言を引き出すこととなります。このようなことが三回あったと書かれています。ペテロが三回と言うことを体験するのは、何とこれが三度目です。最初は最後の晩餐の時です。主イエスはペテロに、「今夜、鶏が鳴く前に三度私を知らないと言います」と預言します。そしてそれは成就するのです。

次は、ガリラヤ湖畔の朝の食事の時です。主イエスは、「ヨハネの子シモン。あなたは私を愛していますか」と三度聞かれます。ペテロは心を痛めるのです。そしてその後、主は彼に言われます。「私に従いなさい」と。

さて、私たちは、未だに頑な心を持っています。幼子のように柔らかな心を持って、私たちの救い主、主イエスを信じ、信頼しようではありませんか。このお方が、世界の真の支配者であり、勝利者なのですから。》

## ◎お知らせ

※次回第一主日礼拝は、平常通り8月1日(日)午前10時から行ないます。聖書勉強会・祈り会は、7月28日(水)各家庭において行ないます。